

2024年 福島県消化器治療内視鏡研究会

6月22日，郡山商工会議所で外来看護師 横山洋子さんに発表していただきました。

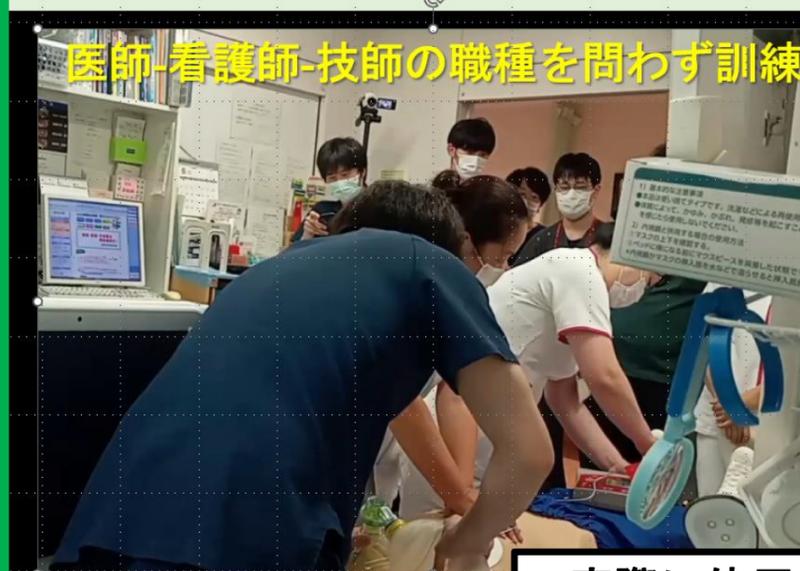


横山洋子さん

司会に以前当院で勤務されていた川島先生がいます

福島医大内視鏡診療部の引地先生からの質問に対応中

シミュレーションの実際



カプノモニタについて

「忘れ去られたバイタルサイン」と形容される呼吸回数，およびSpO₂低下前に早期に呼吸抑制を感知できるモニタリングとしてカプノモニタが推奨されている。 小倉健, Medtronic. Professional Quest vol.36

呼気終末二酸化炭素分圧 (ETCO₂) と呼吸回数が表示される。ETCO₂はPaCO₂より2-5 mmHg低い程度の誤差で，呼吸不全の早期拾い上げが可能。

プロポフォールで鎮静するESDをメインに使用していたが，ERCPにも試験運用を始めた。

Medtronic HPより抜粋

実際に使用したスライドの一部

横山洋子さんの発表は「鎮静内視鏡における検査中および偶発症の対応の見直し」というタイトルで，当院の鎮静内視鏡治療で生じた偶発症への対策について発表してきました。

会場93名で，県内開催研究会では大規模となるものでしたが，堂々と発表していただきました。

伊関理恵さんと藁谷は研究会に参加し，他施設の発表を聴講してきました。

当院の鎮静偶発症のリスク軽減に向けた対応については以前に比べ大分整ってきたように思います。

以後もより安全な鎮静および検査につなげていきたいです。